

来週の「売り物記事」はこれ



2018年1月12日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

進化し続ける中学生棋士・藤井聡太四段

14日(日)



史上最年少のプロデビューから無敗で歴代最多連勝記録となる29連勝を樹立した中学生将棋棋士、藤井聡太四段(15)＝写真。昨年7月に連勝記録が途切れた後もA級棋士ら強敵を破り、順位戦C級2組でも7戦全勝でトップを走る活躍を見せています。春から高校に進学することも決めました。デビューから1年。進化途上にある天才棋士の姿を、本人や周辺の人たちの取材を通じて描きます。

筆者は東京学芸部の丸山進記者です。



緊迫の中で迎える平和の祭典

平昌五輪の現場を歩く

夕刊特集ワイド 15日(月)



平和の祭典、オリンピックも今回は不穏な空気の中での開催となるのか——。おとなり韓国でまもなく始まる平昌冬季五輪。北朝鮮がようやく参加を表明し、緊迫の続く朝鮮半島に「融和の兆し」が見えてきたものの、不安は拭いきれません。現地では今、何が起こっているのか？ 朝鮮半島ウオッチャーである本紙記者が、巨大イベント直前のソウル、五輪会場周辺を歩き、その微妙な空気や人々の声をレポートします。

衣 セレモニー服商戦始まる

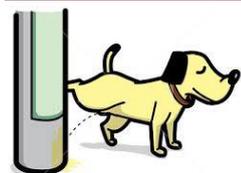
くらしナビA面 16日(火)

3月の卒業式や4月の入学式などに着る女性用の「セレモニー服」の商戦が始まりました。最近では軽くてストレッチが効いたものなど、着心地の良さを重視している服が多く出ています。ハレの場だけでなく、普段着としてもさまざまな着こなしが楽しめます。また、着回しできるものも人気が高いとか。たくさんの写真で紹介します。



ハマりました 珍しい電柱巡り

くらしナビB面 17日(水)



晴れ渡った青空には電柱がよく似合うと、全国の電柱を巡る男性がいます。電線の引き方、変圧器の位置、部品の形など、電柱ごとに形が違うそう。技術の進歩とともに変化していますが、北海道函館市には1923年に立てられた日本最古のコンクリート電柱が残っており、はるばる見に行ったことも。電柱の魅力について、たっぷり語っていただきました。

それホント？ 結婚に前向き？ 福井のヒミツ

週刊 サラダぼうる 15日(月)

女性の生涯未婚率(50歳まで一度も結婚したことのない割合)が全国で最も低いのが福井県。東京都の半分以下です。独身、非婚派の女性記者が福井県を訪れ、なぜ、結婚する人が多いのか取材しました。そこには、「結婚は大変だけど、80年のスパンで考えると伴侶のある生活はいいもの」と、そっと背を押してくれる「地域の縁結びさん」がいました。



平昌五輪の「勝負服」

企画「平昌へ、勝負の一品～選手を支えるウェア」

スポーツ面 16日(火)から全5回



平昌冬季五輪の開幕まで残り1カ月を切りました。競技において勝敗を分ける大きな要素のひとつがウェアです。選手たちが厳しい鍛錬の末に身につけた技術を少しでも生かすため、「勝負服」であるウェアにはさまざまな工夫が施されています。企画「平昌へ、勝負の一品」でスキージャンプ、モーグル、カーリング、フィギュアスケート、スピードスケートの5種目について、ウェアに関する最新技術や選手のこだわりなどを紹介します。

野党再々編の行方 巨大与党に立ち向かうには

オピニオン面 [論点] 17日(水)

昨年10月の衆院選では野党陣営の足並みが乱れ、自民党の大勝を許しました。野党第1、2党となった立憲民主党、希望の党は中規模政党で、巨大与党に立ち向かうには力不足の感が否めません。来年の統一地方選、参院選を控え、「野党再々編」が模索されていますが、先行きは見通せません。離合集散を繰り返してきた野党は今後どう動くべきでしょうか。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

道を切り開く患者たち

医療・福祉面 17日(水)、21日(日)



患者たちが、検査や治療を受けるだけでなく、原因や治療法を解明するために研究に参加したり、政策提言にかかわったりする動きが広がっています。医療の進歩に患者の役割は欠かせないと認識する医療関係者もあり、両者をつなぐ中間的な組織も生まれつつあります。自らのためだけでなく、他の人のために道を切り開こうとする患者たちを2回にわたって紹介します。